

# Johann Sebastian Bach

## Johannes Passion

### J.S.バッハ

### ヨハネ受難曲 第2稿 対訳

仙台宗教音楽合唱団

盛岡バッハ・カンタータフェライン

指揮：佐々木正利

2025年 4月26日（土） 仙台公演 （日立システムズホール）  
4月29日（火祝） 盛岡公演 （マリオス）

対訳作成：山岸 健一（仙台宗教音楽合唱団）

## 第1部

**Nr.1-II** コラール 詞：ゼーバルト・ハイデン「O Mensch, beweine dein' Sünde groß」第1節 旋律：マティアス・グライター

O Mensch, beweine dein' Sünde groß,  
darum Christus sein's Vaters Schoß  
äußert und kam auf Erden;  
von einer Jungfrau rein und zart  
für uns er hie geboren ward,  
er wollt' der Mittler werden.  
Den Toten er das Leben gab  
und legt' dabei all' Krankheit ab,  
bis sich die Zeit herdrange,  
dass er für uns geopfert würd',  
trüg' unsrer Sünden schwere Bürd'  
wohl an dem Kreuze lange.

おお人よ、汝の罪の大いなることを嘆け。  
そのためにキリストは父の懷から  
現れ、地上に降りて来られたのだ。  
純粹で優しい一人の乙女から、  
私たちのためにこの世に生まれて、  
仲介者になろうとされたのだ。  
彼は死者たちに生命を与え、  
彼らからすべての病を取り去って下さった。  
時が迫るまで。  
(時が来て) 彼は、私たちのために犠牲となり、  
私たちの罪の重荷を背負って下さった。  
十字架上において長い間、十分に。

### **Nr.2a** (18:1-4)

福音史家：Jesus ging mit seinen Jüngern  
über den Bach Kidron;  
da war ein Garte,  
darein ging Jesus und seine Jünger.  
Judas aber, der ihn verriet,  
wusste den Ort auch;  
denn Jesus versammelte sich oft daselbst  
mit seinen Jüngern.  
Da nun Judas  
zu sich hatte genommen die Schar  
und der Hohenpriester und Pharisäer Diener,  
kommt er dahin  
mit Fackeln, Lampen und mit Waffen.  
Als nun Jesus wusste alles,  
was ihm begegnen sollte,  
ging er hinaus und sprach zu ihnen:

イエス： Wen suchet ihr?

福音史家： Sie antworteten ihm:

### **Nr.2b** (18:4) 【合唱】ユダヤ人たち

**Jesum von Nazareth.**

### **Nr.2c** (18:5-7)

福音史家：Jesus spricht zu ihnen:

イエス： Ich bin's.

福音史家：Judas aber, der ihn verriet,  
stund auch bei ihnen.  
Als nun Jesus zu ihnen sprach: Ich bin's,  
wichen sie zurück und fielen zu Boden.  
Da fragete er sie abermal:

イエス： Wen suchet ihr?

福音史家： Sie aber sprachen:

イエスは弟子たちとともに、  
キドロン川の向こうへ渡って行った。  
そこには園があって、  
その中にイエスと弟子たちは入っていた。  
イエスを裏切ったユダもまた、  
この場所を知っていた。  
というのも、イエスは、しばしばこの場所で、  
弟子たちとともに集まっていたからである。  
今や、ユダは、  
兵士の部隊や、  
祭司長たち及びファリサイ派たちの従者を引き連れて、  
そこにやって来る、  
たいまつ、ランプ、武器などを持って。  
その時には、イエスは  
自分に起こるべき事を全て承知していたので、  
出て行って彼らに言った。

「あなた方は誰を探しているのか？」

彼らは答えた。

「ナザレのイエスを」

イエスは彼らに言う。

「私がそうだ」

イエスを裏切ったユダも  
彼らの側に立っていた。  
イエスが彼らに『私がそうだ』と言った時、  
彼らは後ろに退いて地に倒れた。  
イエスは再び彼らに尋ねた。

「あなた方は誰を探しているのか？」

彼らは言った。

**Nr.2d** (18:7) 【合唱】ユダヤ人たち

**Jesum von Nazareth.**

「ナザレのイエスを」

**Nr.2e** (18:8)

福音史家 : Jesus antwortete:

イエスは答えた。

イエス : Ich hab's euch gesagt, dass ich's sei.  
Suchet ihr denn mich,  
so lasset diese gehen!

「私がそなた、とあなた方に言ったではないか。  
あなた方が探しているのは私なのだから、  
この者たちは行かせてやれ！」

**Nr.3** コラール

詞 : ヨハン・ヘールマン「Herzliebster Jesu」第7節、 旋律 : ヨハン・クリューガー

O große Lieb, o Lieb ohn alle Maße,  
die dich gebracht auf diese Marterstaße!  
Ich lebte mit der Welt in Lust und Freuden,  
und du musst leiden.

おお、大いなる愛、限度の無い愛よ、  
それがあなたをこの責め苦の道へと連れて行ったのです。  
私は世と共に、快樂と喜びのうちに生きたのに、  
あなたは苦しみを受けねばならなかったのです。

**Nr.4** (18:9-11)

福音史家 : Auf dass das Wort erfüllet würde,  
welches er sagte:  
Ich habe der keine verloren,  
die du mir gegeben hast.  
Da hatte Simon Petrus ein Schwert  
und zog es aus  
und schlug nach des Hohenpriesters Knecht,  
und hieb ihm sein recht Ohr ab;  
und der Knecht hieß Malchus.  
Da sprach Jesus zu Petro:

それは、彼の言葉が果たされるためであった。  
彼は次のように語っていたのである  
『私は、誰も失わなかった、  
あなたが私に与えた者を。』  
その時、シモン・ペテロは剣を持っていたので、  
それを抜き、  
大祭司の下僕に打ちかかり、  
彼の右の耳を切り落とした。  
その下僕の名はマルコといった。  
そこでイエスはペテロに言った。

イエス : Stecke dein Schwert in die Scheide!  
Soll ich den Kelch nicht trinken,  
den mir mein Vater gegeben hat?

「剣を鞘に収めよ！  
私は飲まずにいられようか、  
父が私に与えたこの杯を？」

**Nr.5** コラール

マルティン・ルター「Vater unser im Himmelreich」第4節

Dein Will gescheh, Herr Gott, zugleich  
auf Erden wie im Himmelreich.  
Gib uns Geduld in Leidenszeit,  
gehorsam sein in Lieb und Leid;  
wehr und steur allem Fleisch und Blut,  
das wider deinen Willen tut!

あなたの意志が実現しますように、主なる神よ、  
天国と同じように地上においても。  
苦しみの時において、我らに忍耐をお与ください、  
愛のうちでも苦しみのうちでも、我らが従順であるように。  
守り、導いてください、全ての肉と血から、  
あなたの意志に逆らう(肉と血から)！

**Nr.6** (18:12-14)

福音史家 : Die Schar aber und der Oberhauptmann  
und die Diener der Jüden nahmen Jesum  
und bunden ihn  
und führten ihn auf's erste zu Hannas;  
der war des Kaiphäs Schwäher,  
welcher des Jahres Hoherpriester war.  
Es war aber Kaiphäs, der den Juden riet,  
es wäre gut, dass ein Mensch  
würde umbracht für das Volk.

兵士の部隊、千卒長、  
およびユダヤ人の従者たちは、イエスを捕らえ  
彼を縛って、  
最初にハンナの所へ連れて行った。  
彼(ハンナ)は、  
この年の大祭司であるカイファの舅であった。  
そのカイファは、ユダヤ人たちに助言したことがあった、  
『一人の者が  
民のために殺されることは良いことだ』と。

**Nr.7** アリア (アルト)

Von den Stricken meiner Sünden  
mich zu entbinden,  
wird mein Heil gebunden;  
Mich von allen Lasterbeulen  
völlig zu heilen,  
lässt er sich verwunden.

私の罪の縄から  
私を解放するために、  
私の救い(主)は拘束される。  
私の全ての悪癖の腫瘍を、  
完全に治すために、  
彼は自らを傷つけられたのだ。

**Nr.8** (18:15)

福音史家 : Simon Petrus aber folgte Jesu nach  
und ein ander Jünger.

シモン・ペテロはイエスの後について行った。  
そしてもう一人の弟子も (一緒だった)。

**Nr.9** アリア (ソプラノ)

Ich folge dir gleichfalls  
mit freudigen Schritten  
und lasse dich nicht,  
mein Leben, mein Licht.  
Befördre den Lauf  
und höre nicht auf,  
selbst an mir zu ziehen,  
zu schieben, zu bitten!

私も(ペテロ)同じく、あなたについて行きます、  
喜ばしい足どりで、  
そして、決してあなたから離れません、  
私の命、私の光よ。  
(私を)進路へと促して下さい、  
そして止めないで下さい、  
あなた自らが私を引っ張ったり、  
押ししたり、招くことを!

**Nr.10** (18:15-23)

福音史家 : Derselbige Jünger  
war dem Hohenpriester bekannt  
und ging mit Jesu  
hinein in des Hohenpriesters Palast.  
Petrus aber stund draußen für der Tür.  
Da ging der andere Jünger,  
der dem Hohenpriester bekannt war,  
hinaus und redete mit der Türhüterin  
und führte Petrum hinein.  
Da sprach die Magd, die Türhüterin  
zu Petro:

この弟子は  
祭司長 (= ハンナ)の知り合いだったので、  
イエスとともに  
祭司長の屋敷 (の中庭) に入っていた。  
一方、ペテロは門の外で立っていた。  
すると、その (先ほどの) 弟子、  
祭司長の知り合いであった彼が  
出てきて、門番女と話して、  
ペテロを中に導いた。  
その時、その門番をしている下女が  
ペテロに言った。

下女 : Bist du nicht auch  
dieses Menschen Jünger einer?

「あなたもまた、  
あの人の弟子の一人ではありませんか?」

福音史家 : Er sprach:

ペテロは言った。

ペテロ : Ich bin's nicht.

「私はそうではない」

福音史家 : Es stunden aber die Knechte und Diener  
und hatten ein Kohlfew'r gemacht,  
(denn es war kalt) und wärmten sich.  
Petrus aber stund  
bei ihnen und wärmte sich.  
Aber der Hohepriester fragte Jesum  
um seine Jünger und um seine Lehre.  
Jesus antwortete ihm:

そこには下僕たちや従者たちが立っていて、  
炭火をおこして  
(寒かったからである) 暖まっていた。  
ペテロも  
彼らの側で暖まっていた。  
さて、祭司長ハンナは、イエスに、  
彼の弟子たちや彼の教えについて問うた。  
イエスは彼に答えて言った。

イエス : Ich habe frei, öffentlich geredet für der Welt.  
Ich habe allezeit gelehret  
in der Schule und in dem Tempel,  
da alle Juden zusammenkommen,

「私は自由に、公然と世に対して話してきた。  
私はいつも教えていたではないか、  
講堂や神殿、  
ユダヤ人たちが集まる場所で。

und habe nichts im Verborgnen geredt.  
Was fragest du mich darum?  
Frage die darum, die gehört haben,  
was ich zu ihnen geredet habe!  
Siehe,  
dieselbigen wissen, was ich gesagt habe.

福音史家 : Als er aber solches redete,  
gab der Diener einer, die dabei stunden,  
Jesu einen Backenstreich und sprach:

従者 : Solltest du dem Hohenpriester  
also antworten?

福音史家 : Jesus aber antwortete:

イエス : Hab' ich übel geredt,  
so beweise es, dass es böse sei;  
hab' ich aber recht geredt,  
was schlägest du mich?

隠れた場所では何も話してこなかった。  
(なのに)お前たちは私に何を問うのか?  
それを聞いた人たちに問え、  
私が彼らに何を語ってきたか!  
見よ、  
その人たちは私が何を語ってきたか知っている。」

イエスがこう言った時、  
彼の隣に立っていた従者の一人が、  
イエスに平手打ちを食らわせ言った。

「お前は祭司長に対して  
そのような答え方をしてよいのか？」

イエスは答えた。

「私が悪いことを言ったというなら、  
何が悪いのか証明せよ。  
しかし私が正しいことを言ったのなら、  
なぜ私を撃つのか？」

## Nr.11 コラール

詞 : パウル・ゲルハルト「O Welt, sieh hier dein Leben」第3・4節、 旋律 : ハインリヒ・イザーク

Wer hat dich so geschlagen,  
mein Heil, und dich mit Plagen  
so übel zugericht'?  
Du bist ja nicht ein Sünder  
wie wir und unsre Kinder,  
von Missetaten weißt du nicht.

Ich, ich und meine Sünden,  
die sich wie Körnlein finden  
des Sandes an dem Meer,  
die haben dir erregt  
das Elend, das dich schläget,  
und das betrübte Marterheer.

誰があなたをこのように打ったのですか。  
我が救いよ、誰があなたを苦しみでもって、  
そんなにもひどい目に合わせたのですか?  
あなたは決して罪人ではありません、  
私たちや、私たちの子供らのように。  
あなたは悪事について何も知らないのです。

私です。私と、私の罪、  
その罪は、たくさん見いだされます、  
海辺の小さな砂粒のように (たくさん)、  
それらが、あなたに対して引き起こしたのです、  
あなたを打つ不幸を、  
悲しむべき多くの拷問を。

## Nr.11+ アリア (バス) & コラール (ソプラノ) パウル・シュトックマン「Jesu Leiden, Pein und Tod」第33節

Himmel reiße, Welt erbebe,  
fällt in meinen Trauerton,  
sehst meine Qual und Angst,  
was ich, Jesu, mit dir leide!

天は裂けよ、この世は震えよ、  
私の悲しみの声の中へ崩れ落ちよ、  
私の苦痛と不安を見よ、  
私が、イエスよ、あなたと共に苦しんでいるのを(見よ)!

Jesu, deine Passion  
ist mir lauter Freude,

イエスよ、あなたの受難は  
私にとって公然の喜びです。

Ja, ich zähle deine Schmerzen  
o zerschlagner Gottessohn,  
ich erwähle Golgatha  
vor dies schnöde Weltgebäude.

そう、私はあなたの苦痛を一つ一つ想起します、  
おお、打ち砕かれた神の子よ、  
私はゴルゴタのほうを選びます、  
この下劣な世界の体系よりも。

deine Wunden, Kron und Hohn  
meines Herzens Weide.

あなたの傷、冠、嘲りは  
私の心の牧場です。

Werden auf den Kreuzeswegen  
deine Dornen ausgesät,  
weil ich in Zufriedenheit  
mich in deine Wunden senke,

十字架の道には  
あなたの茨がばら撒かれています、  
私が満足のうちに  
自らを、あなたの傷の中に沈めるために、

Meine Seel auf Rosen geht,  
wenn ich dran gedenke,

私の魂はバラ園へと向かいます、  
私がそのこと(イエスの受難)を思い出す時には。

so erblick ich in dem Sterben,  
wenn ein stürmend Wetter weht,  
diesen Ort, dahin ich mich täglich  
durch den Glauben lenke.

だから私は、死の中で見つめます、  
嵐が吹き荒れる天候であっても、  
この場所を、私が日々  
信仰を通じて向かうべき目的地として。

in dem Himmel eine Stätt  
mir deswegen schenke!

ですから、天国において居場所を  
私に贈ってください。

**Nr.12a** (18:24-25)

福音史家 : Und Hannas sandte ihn gebunden  
zu dem Hohenpriester Kaiphas.  
Simon Petrus aber stund und wärmete sich.  
Da sprachen sie zu ihm:

ハンナはイエスを縛った状態のまま  
大祭司カイファのところへ送った。  
シモン・ペテロは立って暖まっていた。  
そこで人々は彼に言った。

**Nr.12b** (18:25) 【合唱】 ユダヤ人たち

**Bist du nicht seiner Jünger einer?**

「お前は彼の弟子の一人ではないのか？」

**Nr.12c** (18:25-27)

福音史家 : Er leugnete aber und sprach:

ペテロは否認して言った。

ペテロ : Ich bin's nicht.

「私はそうではない」

福音史家 : Spricht des Hohenpriesters Knecht' einer,  
ein Gefreundter des,  
dem Petrus das Ohr abgehauen hatte:

大祭司の下僕の一人も言う。  
彼は、  
ペテロに耳を切り落とされた者の身内である。

下僕 : Sahe ich dich nicht im Garten bei ihm?

「私はお前が園で彼の側にいるのを見たんだが？」

福音史家 : Da verleugnete Petrus abermal;  
und alsobald krähete der Hahn.  
(以下2行、マタイ福音書 26:75)

ここでペテロが再び否認すると、  
すぐに鶏が鳴いた。

Da gedachte Petrus an die Worte Jesu  
und ging hinaus und weinete bitterlich.

この時、ペテロはイエスの言葉を思い出し、  
外へ出て、痛ましく泣いた。

**Nr.13-II** アリア (テノール)

Zerschmettert mich,  
ihr Felsen und ihr Hügel,  
wirf Himmel deinen Strahl auf mich!  
Wie freventlich,  
wie sündlich, wie vermessen,  
hab ich, o Jesu, dein vergessen!  
Ja, nahm ich gleich  
der Morgenröte Flügel,  
so holte mich  
mein strenger Richter wieder;  
ach! fällt vor ihm  
in bittern Tränen nieder!

私を粉々に打ち碎け、  
岩山よ、丘よ  
天よ、私に汝の電光を投げつけよ！  
何と邪悪な、  
何と罪深い、何と向こう見ずなことでしょう、  
私が、おお、イエスよ、あなたのことを忘れ去っていたとは！  
そう、たとえ私が  
朝焼けの赤い翼を身につけ(飛んで行っ)たとしても、  
私を再び連れ戻すでしょう、  
我が厳格な裁判官は。  
ああ、彼の前にひざまずけ、  
苦い涙とともに！

Petrus, der nicht denkt zurück,  
seinen Gott verneinet,  
der doch auf ein' ernsten Blick  
bitterlichen weinet.  
Jesu, blicke mich auch an,  
wenn ich nicht will büßen;  
wenn ich Böses hab getan,  
rühre mein Gewissen !

ペテロは、(イエスの言葉を)想起することなく、  
彼の神を否定する、  
だが、(主の)真剣な眼差しによって、  
痛ましく泣く。  
イエスよ、私にも眼差しを注いでください。  
もし私が悔い改めようとしなければ、  
もし私が悪事を行ったなら、  
私の良心を揺り動かしてください！



## 第2部

Christus, der uns selig macht,  
kein Bös' hat begangen,  
der ward für uns in der Nacht  
als ein Dieb gefangen,  
geführt für gottlose Leut'  
und fälschlich verklaget,  
verlacht, verhöhnt und verspeit,  
wie denn die Schrift saget.

私たちを幸いにして下さるキリストは  
何も悪事を犯さなかったのに、  
私たちのために、夜  
まるで盗人のように捕らえられ、  
神を畏れぬ人々の前に引き出され、  
偽りの罪で訴えられ、  
嘲笑され、弄ばれ、唾を吐きかけられた、  
すなわち書物が語っているように。

### Nr.16a (18:28-30)

福音史家 : Da führten sie Jesum von Kaipha  
vor das Richthaus, und es war frühe.  
Und sie gingen nicht in das Richthaus,  
auf dass sie nicht unrein würden,  
sondern Ostern essen möchten.  
Da ging Pilatus zu ihnen heraus und sprach:

人々はイエスをカイファの所から  
総督官邸へ連れて行った。早朝のことだった。  
人々は官邸に入らなかった。  
というのは、彼らは汚れることなく、  
過越の食事をしたかったからである。  
そこで総督ピラトは彼らの所へ出てきて言った。

ピラト : Was bringet ihr  
für Klage wider diesen Menschen?

「何の罪で、お前たちは、  
この男に対して訴えをなすのか？」

福音史家 : Sie antworteten und sprachen zu ihm:

彼らは総督に答えて言った。

### Nr.16b (18:30) 【合唱】ユダヤ人たち

Wäre dieser nicht ein Übeltäter,  
wir hätten dir ihn nicht überantwortet.

「この者が犯罪者でなかったら、  
我々は彼をあなたに引き渡したりしない。」

### Nr.16c (18:31)

福音史家 : Da sprach Pilatus zu ihnen:

ピラトは彼らに言った。

ピラト : So nehmet ihr ihn hin  
und richtet ihn nach eurem Gesetze!

「それなら、お前たちが彼を引き取って、  
お前たちの律法に従って彼を裁け！」

福音史家 : Da sprachen die Jüden zu ihm:

するとユダヤ人たちはピラトに言った。

### Nr.16d (18:31) 【合唱】ユダヤ人たち

Wir dürfen niemand töten.

「我々は何人をも殺すことが許されていない。」

**Nr.16e** (18:32-36)

福音史家 : Auf dass erfüllet würde das Wort Jesu, welches er sagte, da er deutete, welches Todes er sterben würde. Da ging Pilatus wieder hinein in das Richthaus und rief Jesu und sprach zu ihm:	それはイエスの言葉が果たされるためであった、彼は語って示していたのである、自分がどのように死ぬかを。 そこでピラトは再び宮邸の中に入り、イエスを呼んで彼に言った。
ピラト : Bist du der Jüden König?	「お前はユダヤ人の王なのか？」
福音史家 : Jesus antwortete:	イエスは答えた。
イエス : Redest du das von dir selbst, oder haben's dir andere von mir gesagt?	あなたは自分自身でそう言っているのか、それとも誰か別の者が私について、あなたにそう言ったのか？
福音史家 : Pilatus antwortete:	ピラトは答えた。
ピラト : Bin ich ein Jüde? Dein Volk und die Hohenpriester haben dich mir überantwortet; was hast du getan?	「私がユダヤ人であるはずないだろう？ お前の民族と祭司長たちが、お前を私に引き渡したのだ。 お前は何をしたのか？」
福音史家 : Jesus antwortete:	イエスは答えた。
イエス : Mein Reich ist nicht von dieser Welt. Wäre mein Reich von dieser Welt, meine Diener würden darob kämpfen, dass ich den Jüden nicht überantwortet würde; aber nun ist mein Reich nicht von dannen.	「私の国はこの世のものではない。 もし私の国がこの世のものだったならば、私の従者たちが戦って 私がユダヤ人に引き渡されないようにするだろう。 しかし今は、私の国はここには無い。」

**Nr.17** コラール

詞 : ヨハン・ヘールマン「Herzliebster Jesu」第8・9節、 旋律 : ヨハン・クレーガー

Ach großer König, groß zu allen Zeiten, wie kann ich g'nugsam diese Treu ausbreiten? Kein's Menschen Herze mag indes ausdenken, was dir zu schenken.	ああ偉大な王よ、いつの世にも偉大なる王よ、 どうすれば私はこの真実を十分に広められるだろう？ しかし、いかなる人の心も、思いつくことができません、 何をあなたに贈るべきか、を。
Ich kann's mit meinen Sinnen nicht erreichen, womit doch dein Erbarmen zu vergleichen. Wie kann ich dir denn deine Liebestaten im Werk erstatten ?	私は自分の思慮をもって思い至ることができません、 何をもって、あなたの憐れみと比較するか、を。 私はあなたの愛の行為に対して、 どんな所業によって報いることができるのでしょうか？

**Nr.18a** (18:37-40)

福音史家 : Da sprach Pilatus zu ihm:	ピラトはイエスに言った。
ピラト : So bist du dennoch ein König?	「それではやはりお前は王なのか？」
福音史家 : Jesus antwortete:	イエスは答えた。
イエス : Du sagst's, ich bin ein König.※ Ich bin dazu geboren und in die Welt kommen, dass ich die Wahrheit zeugen soll. Wer aus der Wahrheit ist, der höret meine Stimme.	「あなたがそう言っている、(その通り) 私は王である。※ 私が生まれ、 この世に来たのは、 真理を示すためである。 真理からの者は 私の声を聞く。」

※この最初の行、聖書のギリシア語原文は「私が王だということは、あなたが言っていることだ」となっている。ここで、ピラトはイエスに「ユダヤ人の王なのか」ではなく、単に「王なのか」と問っている。それをいいことに、ルターはここでイエスの口から「私は王だ」と言わせたくて、意図的誤訳を行ったのである。このルターによる「意図的誤訳」のドイツ語を、“正しく翻訳”するならば、上記のようにせざるを得ない。



福音史家 : Spricht Pilatus zu ihm:

ピラト : Was ist Wahrheit?

福音史家 : Und da er das gesaget,  
ging er wieder hinaus zu den Jüden  
und spricht zu ihnen:

ピラト : Ich finde keine Schuld an ihm.  
Ihr habt aber eine Gewohnheit,  
dass ich euch einen losgebe;※  
wollt ihr nun,  
dass ich euch der Jüden König losgebe?

※聖書原文ではここに「過越にあたって」という1節が入る。ルター訳では losgebe の前に auf Ostern が入っている。これはバツハによる省略である。

福音史家 : Da schriean sie wieder allesamt  
und sprachen:

**Nr.18b** (18:40) 【合唱】 全群衆

**Nicht diesen, sondern Barrabam!**

**Nr.18c** (18:40-19:1)

福音史家 : Barrabas aber war ein Mörder.  
Da nahm Pilatus Jesum und geißelte ihn.

**Nr.19-II** アリア (テノール)

Ach windet euch nicht so, geplagte Seelen,  
bei eurer Kreuzesangst und Qual!  
Könnt ihr die unermessne Zahl  
der harten Geißelschläge Zählen,  
so zählet auch die Menge eurer Sünden,  
ihr werdet diese größer finden!

**Nr.21a** (19:2-3)

福音史家 : Und die Kriegsknechte  
flochten eine Krone von Dornen  
und satzten sie auf sein Haupt  
und legten ihm ein Purpurkleid an  
und sprachen:

**Nr.21b** (19:3) 【合唱】 兵士たち

**Sei begrüßet, lieber Jüdenkönig!**

**Nr.21c** (19:3-6)

福音史家 : Und gaben ihm Backenstrieche.  
Da ging Pilatus wieder heraus  
und sprach zu ihnen:

ピラト : Sehet, ich führe ihn heraus zu euch,  
dass ihr erkennet,  
dass ich keine Schuld an ihm finde.

福音史家 : Also ging Jesus heraus  
und trug eine Dornenkrone und Purpurkleid.  
Und er sprach zu ihnen:

ピラト : Sehet, welch ein Mensch!

ピラトはイエスに言う。

「真理とは何か？」

ピラトはこう言うと、  
再びユダヤ人の所に出て行った。  
そして彼らに言う。

「私は彼に何の罪も見いださない。  
ところで、お前たちには次のような慣習がある、それは  
私がお前たちに (※) 一人釈放してやる、というものだ。  
今、お前たちは、  
私がお前たちにユダヤ人の王を釈放してやることを望むか？」

するとユダヤ人たちは再び、一人残らず  
叫んで言った。

「この者ではなくてバラバを！」

バラバとは殺人者だった。  
そこでピラトはイエスを捕らえて、鞭で打った。

ああ、そんなにのたうつな、苦しめられた魂たちよ、  
おまえたちの十字架の不安と苦悩の傍らで！  
おまえたちが、数え切れないほどの  
厳しい鞭打ちの数を、数えることができるというなら、  
おまえたちの罪の数を数えてみよ、  
より多くの数、見つけることになるだろう！

※第2稿では**Nr.20**は欠番

兵士たちは  
茨の王冠を編んで、  
イエスの頭にかぶせ、  
紫の衣を着せて、  
言った。

「ごきげんよう、愛するユダヤ人の王よ！」

そしてイエスに平手打ちを食らわせた。  
ピラトは再び外へ出て  
彼らに言った。

「見よ、私は彼を、外に、お前たちの前に連れ出す。  
それは、お前たちが認識するためである、  
私が彼に何の罪も見いだしていない、ということ。」

こうしてイエスは外へ出てきたが、  
茨の王冠と紫の衣はつけたままだった。  
ピラトは彼らに言った。

「見よ、この人がどんなであるか！」

福音史家 : Da ihn die Hohenpriester  
und die Diener sahen,  
schriegen sie und sprachen:

**Nr.21d** (19:6) 【合唱】 全群衆

**Kreuzige , kreuzige!**

**Nr.21e** (19:6-7)

福音史家 : Pilatus sprach zu ihnen:

ピラト : Nehmet ihr ihn hin und kreuziget ihn;  
denn ich finde keine Schuld an ihm.

福音史家 : Die Jüden antworteten ihm:

**Nr.21f** (19:7) 【合唱】 ユダヤ人たち

**Wir haben ein Gesetz,  
und nach dem Gesetz soll er sterben;  
denn er hat sich selbst  
zu Gottes Sohn gemacht.**

**Nr.21g** (19:7-11)

福音史家 : Da Pilatus das Wort hörte,  
fürchtet' er sich noch mehr  
und ging wieder hinein in das Richthaus  
und spricht zu Jesu:

ピラト : Von wannen bist du?

福音史家 : Aber Jesus gab ihm keine Antwort.  
Da sprach Pilatus zu ihm:

ピラト : Redest du nicht mit mir?  
Weißest du nicht,  
dass ich Macht habe, dich zu kreuzigen,  
und Macht habe, dich loszugeben?

福音史家 : Jesus antwortete:

イエス : Du hättest keine Macht über mich,  
wenn sie dir nicht wäre  
von oben herab gegeben;  
darum, der mich dir überantwortet hat,  
der hat's größ're Sünde.

福音史家 : Von dem an trachtete Pilatus,  
wie er ihn losließe.

**Nr.22** コラール

詞 : クリスティアン・ハインリヒ・ポステル作のアリア詩

旋律 : ヨハン・ヘルマン・シャイン作のコラール「Mach's mit mir, Gott, nach deiner Güt」

Durch dein Gefängnis, Gottes Sohn,  
muss uns die Freiheit kommen;  
Dein Kerker ist der Gnadenthron,  
die Freistatt aller Frommen;  
denn gingst du nicht die Knechtschaft ein,  
müsst unsre Knechtschaft ewig sein.

祭司長たちや  
従者たちはイエスを見て、  
叫んで言った。

十字架につけよ、十字架につけよ！

ピラトは彼らに言った。

「お前たちが彼を連れて行き、十字架につければよい。  
私は彼に何の罪も見いだせないのだから。」

ユダヤ人たちはピラトに答えた。

「我々は律法を持っている。  
そして律法によれば彼は死ぬべきである。  
なぜなら、彼は自分を  
神の子と称したのだから。」

ピラトはこの言葉を聞くと、  
より一層恐れて  
再び官邸の中に入り、  
イエスに言う。

「お前はどこから来たのか？」

しかしイエスは何も答えなかった。  
そこでピラトはイエスに言った。

お前は私に何も言わないのか？  
お前は知らないのか？  
私はお前を十字架につける権限も、  
お前を解放してやる権限も持っているのだ、ということ。

イエスは答えた。

「あなたは私について何の権限も持っていない。  
もしその権限があなたに  
天から下賜されたものでなければ。  
だから、私をあなたに引き渡した者、  
その者にはより大きな罪がある。」

この会話以後、ピラトは  
どうにかしてイエスを解放しようと努めた。

神の御子よ、あなたが捕らわれたことにより、  
我らに自由がもたらされるに違いありません。  
あなたの牢獄は、恩恵の玉座であり、  
全ての敬虔な人々の隠れ家です。  
そもそも、あなたが奴隷契約義務を負って下さらなかったら、  
我らの奴隷状態は永遠だったに違いないのです。

**Nr.23a** (19:12)

福音史家 : Die Jüden aber schriean und sprachen:

しかしユダヤ人たちは叫んで言った。

**Nr.23b** (19:12) 【合唱】 ユダヤ人たち

Lässest du diesen los,  
so bist du des Kaisers Freund nicht;  
denn wer sich zum Könige machet,  
der ist wider den Kaiser.

「この者を解放するならば、  
あなたは皇帝の友ではない。  
自ら王と称する者は、  
皇帝に逆らっているのだから。」

**Nr.23c** (19:13-15)

福音史家 : Da Pilatus das Wort hörete,  
führte er Jesum heraus  
und satzte sich auf den Richtstuhl,  
an der Stätte, die da heißet : Hochpflaster,  
auf Ebräisch aber : Gabbatha.  
Es war aber der Rüsttag in Ostern  
um die sechste Stunde,  
und er spricht zu den Jüden:

ピラトはこの言葉を聞くと、  
イエスを外に連れ出し、  
自分も裁判の席についた。  
その場所は「高い敷石」、  
ヘブライ語で「ガバタ」といった。  
それは過越の準備の日の  
第六時（昼の十二時）だった、  
ピラトはユダヤ人たちに言う。

ピラト : Sehet, das ist euer König!

「見よ、これがお前たちの王だ！」

福音史家 : Sie schriean aber:

しかし彼らは叫んだ。

**Nr.23d** (19:15) 【合唱】 ユダヤ人たち

Weg, weg mit dem, kreuzige ihn!

「その者を去らしめよ、彼を十字架につけよ！」

**Nr.23e** (19:15)

福音史家 : Spricht Pilatus zu ihnen:

ピラトは彼らに言う。

ピラト : Soll ich euren König kreuzigen?

「私がお前たちの王を十字架につけてよいのか？」

福音史家 : Die Hohenpriester antworteten:

祭司長たちは答えた。

**Nr.23f** (19:15) 【合唱】 祭司長たち

Wir haben keinen König denn den Kaiser. 「我々には王はいない、なぜなら皇帝を戴いているから。」

**Nr.23g** (19:16-17)

福音史家 : Da überantwortete er ihn,  
dass er gekreuziget würde.  
Sie nahmen aber Jesum und führten ihn hin.  
Und er trug sein Kreuz und ging  
hinaus zur Stätte, die da heißet Schädelstätt,  
welche heißet auf Ebräisch : Golgatha.

そこでピラトはイエスを引き渡した、  
彼が十字架につけられるために。  
彼らはイエスを引き取って連行していった。  
イエスは自分の十字架を担いで行き、  
「髑髏(されこうべ)の場所」という場所へと向かった。  
そこはヘブライ語で「ゴルゴタ」という。

**Nr.24** アリア (バス) & 【合唱】

Eilt, ihr angefochtenen Seelen,  
geht aus euren Marterhöhlen,  
Eilt — Wohin ? — nach Golgatha !  
Nehmet an des Glaubens Flügel,  
flieht — Wohin ?  
— zum Kreuzeshügel,  
eure Wohlfahrt blüht allda !

急げ、汝ら、悩める魂たちよ、  
汝らの呵責の洞窟から出よ。  
急げ — どこへ？ — ゴルゴタへ！  
信仰の翼を受け入れよ  
飛べ — どこへ？  
— 十字架の丘へ。  
汝らの幸福・繁栄は、そこでこそ花咲くのだ！

**Nr.25a** (19:18-21)

福音史家 : Allda kreuzigten sie ihn  
und mit ihm zween andere zu beiden Seiten,  
Jesum aber mitten inne.  
Pilatus aber schrieb eine Überschrift  
und satzte sie auf das Kreuz;  
und war geschrieben:  
"Jesus von Nazareth, der Jüden König."  
Diese Überschrift lasen viel Jüden,  
denn die Stätte war nahe bei der Stadt,  
da Jesus gekreuziget ist.  
Und es war geschrieben auf ebräische,  
griechische und lateinische Sprache.  
Da sprachen die Hohenpriester der Jüden  
zu Pilato:

その場所で、彼らはイエスを十字架につけた、  
彼とともに他の2人を両脇に、  
そしてイエスを中央に。  
ピラトは表書きを書いて、  
それを十字架の上に掲げた。  
それにはこう書いてあった。  
『ナザレのイエス、ユダヤ人の王』と。  
この表書きは多くのユダヤ人たちが読んだ。  
なぜなら、イエスが十字架に架けられた場所は、  
市街地に近かったからである。  
また、その表書きは、ヘブライ語、  
ギリシア語、そしてラテン語で書かれていた。  
そこでユダヤの祭司長たちは  
ピラトに言った。

**Nr.25b** (19:21) 【合唱】 祭司長たち

**Schreibe nicht: der Jüden König,  
sondern dass er gesaget habe:  
Ich bin der Jüden König.**

『ユダヤ人の王』と書くな。  
そうではなくて、  
『彼は、私がユダヤ人の王だ、と言っていた』と書け。』

**Nr.25c** (19:22)

福音史家 : Pilatus antwortet:

ピラト : Was ich geschrieben habe,  
das habe ich geschrieben.

ピラトは答える。

「私が書いたものは、  
私が書いたことだ。(その通りにしておけ。)」

**Nr.26** コラール

詞 : ヴアレリウス・ヘルベルガー 「Valet will ich dir geben」第3節 旋律 : ムルヒオール・テシュナー

In meines Herzens Grunde,  
dein Nam und Kreuz allein  
funkelt all Zeit und Stunde,  
drauf kann ich fröhlich sein.  
Erschein mir in dem Bilde  
zu Trost in meiner Not,  
wie du, Herr Christ, so milde  
dich hast geblut' zu Tod!

わたしの心の奥底には、  
あなたの御名と十字架だけが、  
いつでもどんな時も輝いています。  
それで私は喜んでいられるのです。  
私に姿を現してください、  
苦しむ私の慰めとして、  
主キリストよ、どのようにあなたが、そんなにも穏やかに  
死に至るまで血を流された姿を(現してください)。

**Nr.27a** (19:23-24)

福音史家 : Die Kriegsknechte aber,  
da sie Jesum gekreuziget hatten,  
nahmen seine Kleider  
und machten vier Teile,  
einem jeglichen Kriegesknechte sein Teil,  
dazu auch den Rock.  
Der Rock aber war ungenähet,  
von oben an gewürket durch und durch.  
Da sprachen sie untereinander:

さて兵士たちは、  
イエスを十字架に架けてしまうと、  
彼の衣服をとって  
4つに分け、  
各々の兵士がその1つずつをとり、  
さらに上着も分けようとした。  
しかし上着は縫い目がなく、  
上から下まで通して一枚で織られていた。  
そこで彼らは互いに言い合った。

※ここでルターがドイツ語で Rock (上着) と訳している単語は、もとのギリシア語聖書では「肌着」となっている。日本語訳聖書も肌着である。  
日本の弥生時代の貫頭衣のように1枚の布で作られていたであろう。これをルターが上着と訳したのは、ローブのようなものを想像したのだろうか？

**Nr.27b** (19:24) 【合唱】兵士たち

**Lasset uns den nicht zerteilen,  
sondern darum losen, wes er sein soll.**

「これは裂かないで、  
くじ引きして、誰のものにするか決めよう。」

**Nr.27c** (19:24-27)

福音史家 : Auf dass erfüllet würde die Schrift,  
die da saget:  
"Sie haben meine Kleider unter sich geteilet  
und haben über meinen Rock  
das Los geworfen."  
Solches taten die Kriegesknechte.  
Es stund aber bei dem Kreuze Jesu  
seine Mutter  
und seiner Mutter Schwester,  
Maria, Kleophas Weib,  
und Maria Magdalena.  
Da nun Jesus seine Mutter sahe  
und den Jünger dabei stehen,  
den er lieb hatte,  
spricht er zu seiner Mutter:

これは、書物が果たされるためであった。  
それはこう語っている、  
『彼らは私の衣を各々に分け、  
私の上着については  
くじに運命をまかせた』と。  
兵士たちはその通りにしたのだった。  
さて十字架につけられたイエスの側に立っていたのは、  
彼の母、  
そして彼の母の姉妹で  
クレオファの妻であるマリア、  
そしてマグダラのマリアであった。  
イエスは今、自分の母と、  
その側に立つ  
自分の愛する弟子を見て、  
母に対して言う。

イエス : Weib, siehe, das ist dein Sohn!

「女よ、見なさい、これはあなたの息子だ！」

福音史家 : Darnach spricht er zu dem Jünger:

その後、イエスはこの弟子に言う。

イエス : Siehe, das ist deine Mutter!

「見よ、これはお前の母だ！」

**Nr.28** コラール

パウル・シュツクマン「 Jesu Leiden, Pein und Tod 」第 20 節

Er nahm alles wohl in acht  
in der letzten Stunde,  
seine Mutter noch bedacht,  
setzt ihr ein' Vormunde,  
O Mensch, mache Richtigkeit,  
Gott und Menschen liebe,  
stirb darauf ohn alles Leid,  
und dich nicht betrübe!

主は全てのことに十分に心を配られた、  
最期の時に臨んでも。  
また母についても心に掛けられて  
その後見人を定められた。  
お人よ、正しい事を行え。  
神を、そして人々を愛しなさい。  
そうして、死んでいきなさい、あらゆる苦しみもなく、  
そして悲しむこともなく！

**Nr.29** (19:27-30)

福音史家 : Und von Stund an  
nahm sie der Jünger zu sich.  
Darnach, als Jesus wusste,  
dass schon alles vollbracht war,  
dass die Schrift erfüllet würde, spricht er:

この時から  
この弟子は彼女を自分のもとに引き取った。  
その後、イエスは  
全てが成し遂げられたことを知り、  
書物が果たされるために、彼は言う。

イエス : Mich dürstet!

「私はのどが渇く！」

福音史家 : Da stund ein Gefaße voll Essigs.  
Sie fülleten aber einen Schwamm mit Essig  
und legten ihn um einen Isopen,  
und hielten es ihm dar zum Munde.  
Da nun Jesus den Essig genommen hatte,  
sprach er:

そこには酢が満たされた容器があった。  
彼らは海綿に酢を染みこませると  
それをヒソブ(の枝)に付けて、  
イエスの口もとに保持した。  
イエスは酢を受けると、  
言った。

イエス : Es ist vollbracht!

「成し遂げられた！」

**Nr.30** アリア (アルト)

Es ist vollbracht!  
O Trost vor die gekränkten Seelen!  
Die Trauernacht  
lässt nun die letzten Stunde zählen.  
Der Held aus Juda siegt mit Macht  
und schließt den Kampf.  
Es ist vollbracht!

成し遂げられた！  
おお、病める魂たちに慰めあれ！  
悲しみの夜は  
今や最後の時を迎えるだけだ。  
ユダから出た英雄は力をもって勝利し、  
戦いを終えた。  
成し遂げられた！

**Nr.31** (19:27-30)

福音史家 : Und neiget das Haupt und verschied.

そして頭を傾け、亡くなった。

**Nr.32** アリア (バス) & コラール パウル・シュトゥックマン「Jesu Leiden, Pein und Tod」第34節(最終節)

Mein teurer Heiland, lass dich fragen,

我が親愛なる救い主よ、あなたに問わせてください、

Jesu, der du warest tot,

イエスよ、あなたは亡くなりましたが、

da du nunmehr ans Kreuz geschlagen  
und selbst gesagt : es ist vollbracht,

今や、あなたは十字架に打ち付けられ、  
自ら言われました：「成し遂げられた」と。

lebest nun ohn Ende,

今や終わり無く生きておられます。

bin ich vom Sterben frei gemacht?

私は死から解放されたのでしょうか？

in der letzten Todesnot  
nirgend mich hinwende

最期の死の苦しみにあるとき  
私をあなた以外に向かわせないでください、

Kann ich durch deine Pein und Sterben  
das Himmelreich ererben?  
Ist aller Welt Erlösung da?

私はあなたの苦痛と死によって  
天の国を受け継ぐことができるのでしょうか？  
全世界の救済がそこに実現したのでしょうか？

als zu dir, der mich versüht,  
o du lieber Herre!

あなただけが私をあがなってくださるのですから。  
ああ、愛する主よ！

Du kannst vor Schmerzen  
zwar nichts sagen,

あなたは苦しみのゆえに  
確かに何も語ることはできませんが、

Gib mir nur, was du verdient,  
mehr ich nicht begehre!

私にあなたが得たものだけを下さい、  
それより多くは求めません！

doch neigest du das Haupt  
und sprichst stillschweigend: Ja.

しかし、あなたは、頭を傾けて、  
沈黙のうちに語っておられます。「そうだ」と。

**Nr.33** (マタイ福音書 27:51-52)

福音史家 : Und siehe da,  
der Vorhang im Tempel zerriss in zwei Stück  
von oben an bis unten aus.  
Und die Erde erbebete,  
und die Felsen zerrissen,  
und die Gräber taten sich auf,  
und stunden auf viel Leiber der Heiligen.

すると見よ、  
神殿の垂れ幕が真っ二つに裂けたのだ、  
上から下まで。  
そして大地が震え、  
岩が裂け、  
墓が開いて、  
多くの聖者たちの体が目覚め立ち上がった。

**Nr.34** アリオソ (テノール)

Mein Herz, indem die ganze Welt  
bei Jesu Leiden gleichfalls leidet,  
die Sonne sich in Trauer kleidet,  
der Vorhang reißt, der Fels zerfällt,  
der Erde bebzt, die Gräber spalten,  
weil sie den Schöpfer sehn erkalten,  
was willst du deines Ortes tun?

わが心よ、全世界が  
ひとしくイエスの受難を悼んでいる間に、  
太陽は悲しみの衣をまとい、  
垂れ幕は裂け、岩は崩壊し、  
大地は揺れ、墓(複数)は割れる。  
それらが、創造主が冷たくなるのを見たからである。  
(わが心よ)、お前は自分の場所で何を為そうとするのか？

**Nr.35** アリア (テノール)

Zerfließe, mein Herze, in Fluten der Zähren  
dem Höchsten zu Ehren!

Erzähle der Welt und dem Himmel die Not:  
Dein Jesus ist tot!

溶けて流れ去れ、わが心よ、涙の流れの中へ、  
至高者に敬意を！

この世と天に、この苦しみを述べ伝えよ、  
「あなたのイエスが死んだ」と！

**Nr.36** (19:31-37)

福音史家 : Die Jüden aber;  
dieweil es der Rüsttag war,  
dass nicht die Leichname  
am Kreuze blieben den Sabbath über  
(denn desselbigen Sabbaths Tag  
war sehr groß),  
baten sie Pilatum, dass ihre Beine gebrochen  
und sie abgenommen würden.  
Da kamen die Kriegsknechte  
und brachen dem ersten die Beine  
und dem andern, der mit ihm gekreuziget war.  
Als sie aber zu Jesu kamen,  
da sie sahen, dass er schon gestorben war,  
brachen sie ihm die Beine nicht;  
sondern der Kriegsknechte einer  
eröffnete seine Seite mit einem Speer,  
und alsobald ging Blut und Wasser heraus.  
Und der das gesehen hat, der hat es bezeuget,  
und sein Zeugnis ist wahr,  
und derselbige weiß,  
dass er die Wahrheit saget,  
auf dass auch ihr gläubet.  
Denn solches ist geschehen,  
auf dass die Schrift erfüllet würde:  
"Ihr sollet ihm kein Bein zerbrechen."  
Und abermal spricht eine andere Schrift:  
"Sie werden sehen,  
in welchen sie gestochen haben."

さてユダヤ人たちは、  
その日が(安息日の)準備の日であったため、  
遺体を安息日まで  
十字架の上に残しておかないために、  
(その安息日は  
特に大いなるものであった) ※ 過越と重なっていたことを指す  
ピラトに、彼ら(イエス他2人)の脚を折って  
取り降ろすように、と願い出た。  
そこで、兵士たちが来て、  
イエスと共に十字架につけられた一人目の男の脚を折り、  
もう一人の男の脚も折った。  
しかし彼らがイエスのところに来て、  
彼が既に死んでいるのを見ると、  
その脚は折らなかつたが、  
代わりに、兵士の一人が  
槍でイエスの脇腹を切開した。  
すると、すぐに血と水とが流れ出た。  
それを見た者が、そう証言したのであり、  
そして彼の証言は真実である。  
そしてその者は知っている、  
自分が真実を語っていることを。  
それは、あなたがたもまた信じるためである。  
なぜなら、これらのことが起こったのは  
書物が果たされるためであったのだ。  
すなわち『その骨は一つも砕かれない』と。  
また、別の書物はこう言っている。  
『彼らは見るだろう、  
自分たちが刺し貫いた者を』と。

**Nr.37** コラール

ミハエル・ヴァイセ「Christus, der uns selig macht」第8節

O hilf, Christe, Gottes Sohn,  
durch dein bitter Leiden,  
dass wir dir stets untertan  
all Untugend meiden,  
deinen Tod und sein Ursach  
fruchtbarlich bedenken,

おお、助けてください、キリストよ、神の子よ、  
あなたの辛い受難によって、  
我らが、常にあなたに従い、  
あらゆる悪習を避け、  
あなたの死とその原因について  
実のある考察ができるよう(助けてください)。

dafür, wiewohl arm und schwach,  
dir Dankopfer schenken!

その代わり、(我らは)貧しく弱いものではありませんが  
あなたに感謝の捧げ物を贈ります！

**Nr.38-II** (19:38-42)

福音史家 : Darnach bat Pilatum Joseph von Arimathia,  
der ein Jünger Jesu war,  
(doch heimlich aus Furcht vor den Jüden),  
dass er möchte  
abnehmen den Leichnam Jesu.  
Und Pilatus erlaubete es.

(※)

Es kam aber auch Nikodemus, der vormals  
bei der Nacht zu Jesu kommen war,  
und brachte  
Myrrhen und Aloen unter einander  
bei hundert Pfunden.  
Da nahmen sie den Leichnam Jesu  
und bunden ihn  
in leinen Tücher mit Spezereien,  
wie die Jüden pflegen zu begraben.  
Es war aber an der Stätte,  
da er gekreuziget ward,  
ein Garte, und im Garten ein neu Grab,  
in welches niemand je geleet war.  
Daselbst hin legten sie Jesum,  
um des Rüsttags willen der Jüden,  
dieweil das Grab nahe war.

その後、アリマティア出身のヨゼフが、ピラトに願い出た。

— この人もイエスの弟子であった  
(しかしユダヤ人への恐れからそのことを秘密にしていた) —  
彼の請願は、  
イエスの遺体を取り外したい、というものであった。  
ピラトはそれを許した。

(※)

そこに、また、ニコデモもやって来た。彼は以前、  
ある夜、イエスのもとに来たことがある者だ。  
彼は、  
没薬とアロエを混ぜた物を  
およそ百ポンド持ってきた。  
彼らはイエスの遺体を受け取り、  
それを包んだ、  
亜麻製の布で、香料とともに、  
ユダヤ人が埋葬する際に習慣としているようにである。  
さて、そこには  
すなわち、イエスが十字架につけられたその場所には、  
園があり、その園には新しい墓があった  
かつて誰も葬られたことのない墓である。  
彼らはその墓にイエスを葬った。  
その日がユダヤ人たちにとって準備の日で(時間が無く)、  
またその墓が近かったからである。

※聖書ではここに「Derowegen kam er und nahm den Leichnam Jesu herab. (そのためヨゼフは行ってイエスの遺体を取り降ろした)」  
という1文が入っているが、バツハは第2稿でのみこれをカットしている。

**Nr.39** 【合唱】

**Ruht wohl, ihr heiligen Gebeine,  
die ich nun weiter nicht beweine,  
ruht wohl und bringt auch mich zur Ruh!  
Das Grab, so euch bestimmt ist  
und ferner keine Not umschließt,  
macht mir den Himmel auf  
und schließt die Hölle zu.**

安らかに憩いたまえ、汝、聖なる骸よ、  
私はもはや、あなたについて、嘆き悲しみません。  
安らかに憩い、私をもまた安息へと導いて下さい！  
この墓は、あなたのために定められ、  
今後いかなる苦しみも、包みこむことはありません。  
(この墓は)私に天国の扉を開き  
地獄への道を閉ざしてくれるのです。

**Nr.40-II** コラール

ルターによるドイツ語訳の「Agnus Dei」 カンタータ第23番から流用

Christe, du Lamm Gottes,  
der du trägst die Sünd' der Welt,  
erbarm dich unser !

Christe, du Lamm Gottes,  
der du trägst die Sünd' der Welt,  
gib uns dein' Frieden !  
Amen.

キリストよ、汝、神の子羊よ、  
汝、世の罪を引き受けて下さる御方よ、  
我らを憐れみたまえ！

以上を2回繰り返し

キリストよ、汝、神の子羊よ、  
汝、世の罪を引き受けて下さる御方よ、  
我らに汝の平安を与えたまえ！  
アーメン。